様式３(2020.08改)

作成日　令和２年９月１８日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372102216
事業所名	グループホーム リズム

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	隣接する小学生の来訪により、手品やトランプ、ボウリング、作品作り等で交流している(現在は中断中)。 コロナ禍の中ではあるが、延べ4日間の専門学校の実習生の受入れは行っている。介護従事者の育成は、「介護の魅力を体験することが大切である」との考えが根底にある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議には、利用者･家族や行政(地域包括支援センター職員)、地域の代表(地区総代)、知見者(民生委員)等が出席している。 但し、今年の3月以降は書面による会議に切り替え、議事録を関係者へ送付している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	コロナ禍により介護相談員の訪問は中断しているが、市へは入退居者の報告に訪問している。 社会福祉協議会が主催する市内の“介護事業者”が集まる会合(80名程度)に参加して連携強化に努めている。 管理者が、市のグループホーム小部会の会長職に就いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	年に2回(4月、12月)家族会を開催し、半年間の状況報告と共に家族の意見を聴き、ホーム運営の改善に繋げている。 面会の機会に利用者の様子やホームの取組みを申し伝え、要望などを聴いて叶えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍により、令和2年1月に開催された運営推進会議を最後に、以降は書面会議となっている。(3、5、7月)
会議メンバーには、運営情報や活動の報告、今後の予定等をまとめた資料を配付している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										